



ルネスリバーコート

床衝撃音遮断特性測定報告書

1998年6月26日

大分大学工学部 大鶴研究室

ルネスリバーコート
床衝撃音遮断特性測定報告書
(1998年6月26日 大分大学工学部 大鶴研究室)

調査概要

測定対象：ルネスリバーコート4階（1号室、2号室）階床

測定日時：平成10年6月10日 午後8時～12時

調査機関：大分大学工学部大鶴研究室

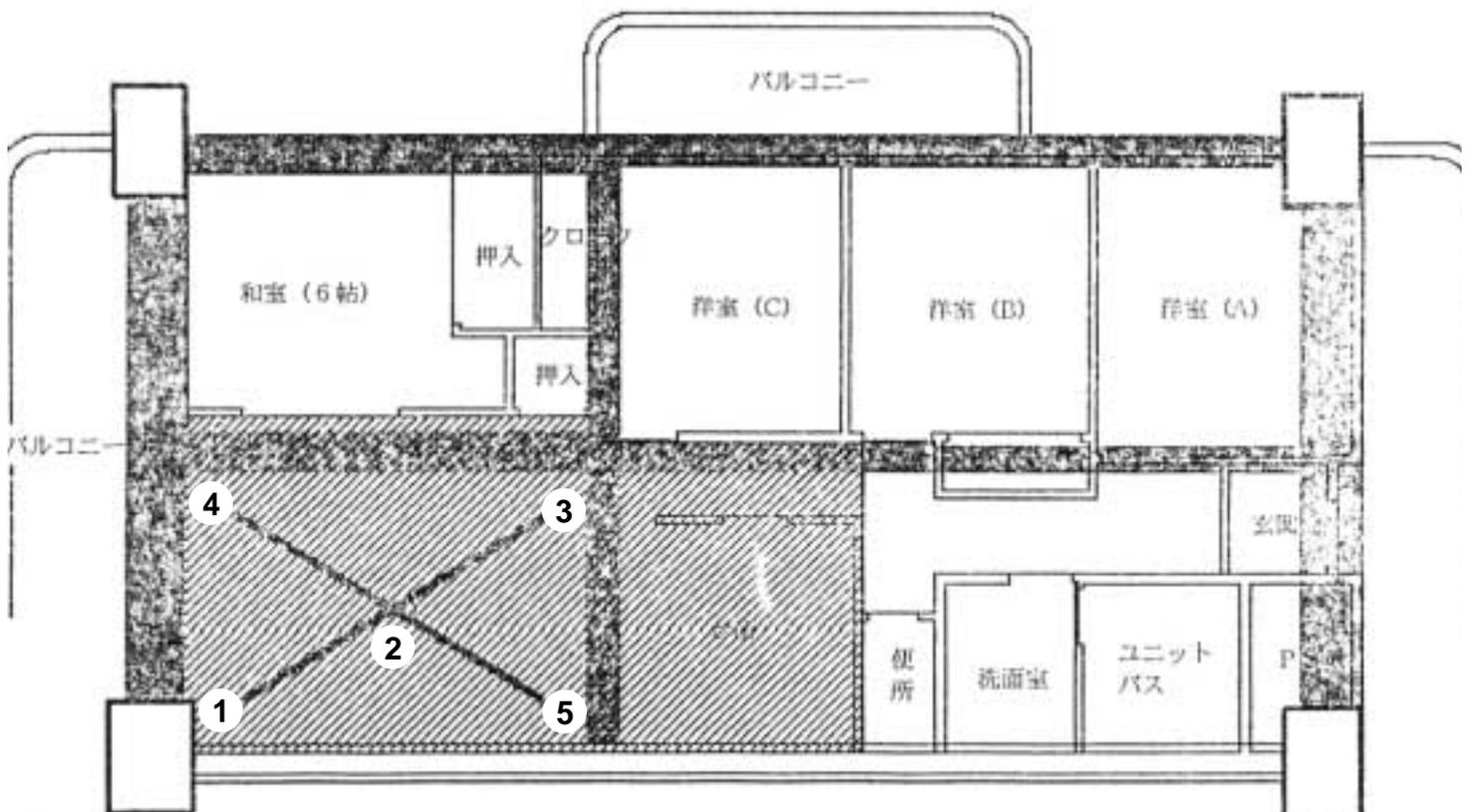
調査方法：JIS A1418「建築物の現場における床衝撃音の測定方法」による

調査結果

結果を付図に示す。

4階階床のL値は、1号室及び2号室ともに、軽量L-40、重量L-45と診断される。なお、軽量衝撃音に対しては表面仕上げ剤（ウッディスーパー50Z）の効果、また重量衝撃音に対しては小梁を含めた床構造全体の効果、が大きいものと測定される。なお、シグマビームをシングルとした場合とダブルとした場合の相違は顕著ではないが、図に示されている通り125Hzにおいて後者の方が2ないし3dB低くなっており、聴感的にも複数の調査者によって若干の相違は認められたようである。但し、L値上は同一クラスとなる。

付図 音源（4階）及び受音（3階）の位置
(2号室の場合。1号室は対称の位置となる。)

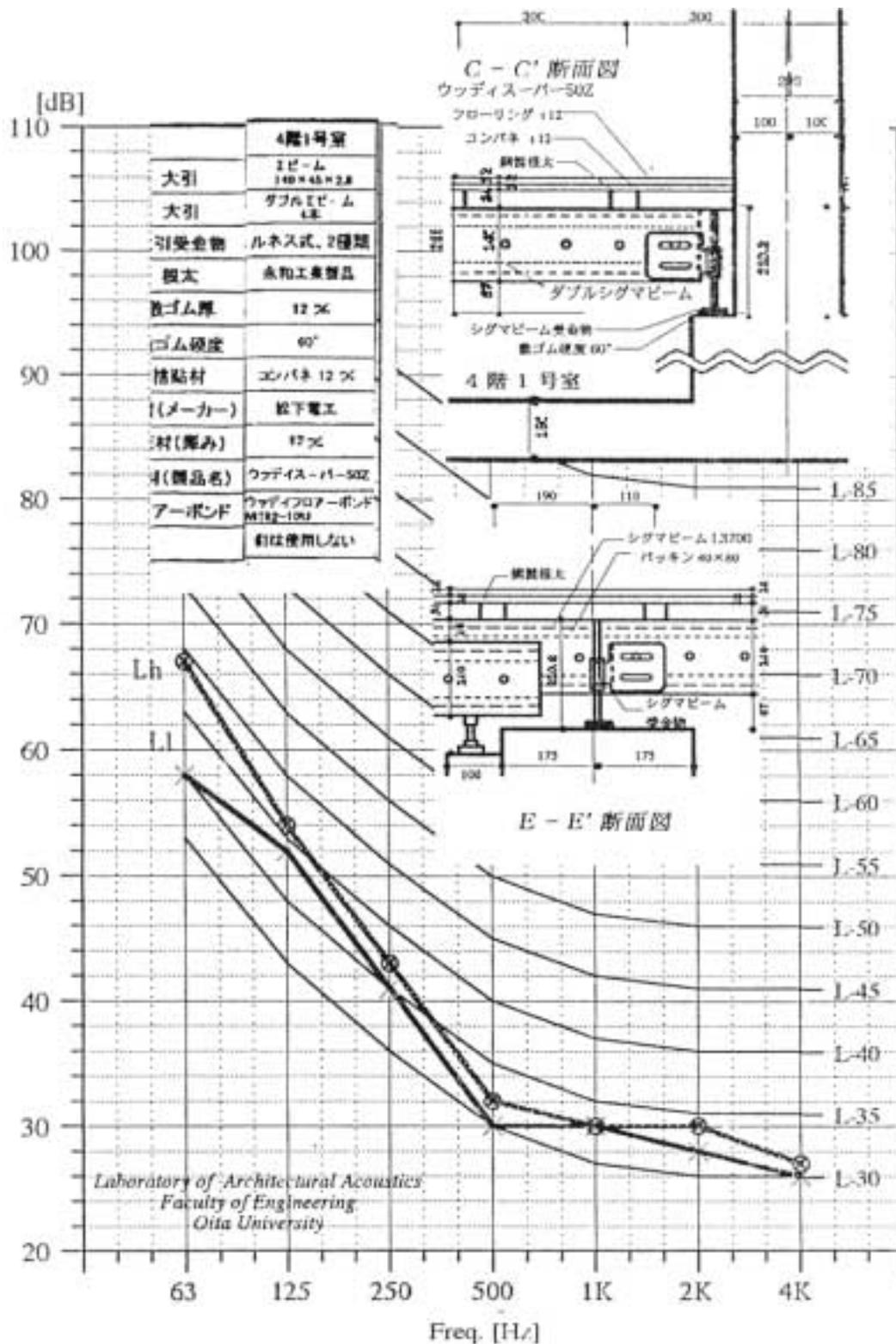


測定日・時間：H10.6.10 20:40～24:00

測定対象：ルネスリバーコート室1号室（W）リビングルーム

受音 3F、音源 4F

測定機関：大分大学工学部



測定日・時間：H10.6.10 20:40～24:00

測定対象：ルネスリバーコート室2号室（S）リビングルーム

受音 3F、音源 4F

測定機関：大分大学工学部

